

講義科目名称： 情報社会B

授業コード：

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	
後期	1	2	-
担当教員			
石川 洋			
	講義	開講区分：毎週	ナンバリングコード： COM1B080065
添付ファイル			

授業のテーマ	Society5.0 と関連させ、これからの社会に必要なとされるデータサイエンスや数理的思考の基礎を学ぶ。		
ディプロマポリシーと当該授業科目の関連	① 教養的知識 ④ 問題解決力 ⑦ 総合力		
学修の目的 (purpose)	インターネット等のデジタル情報を利用する上で必要な知識、対処方法、及び、情報倫理を学ぶことを目的とする。また、さまざまなタイプの情報を適切に理解するために、数理・データサイエンス・AIの基礎を学ぶことを目的とする。		
学修の到達目標 (goals)	情報端末やインターネットの存在が社会に及ぼす影響について考察し、インターネット上の様々な情報に対する倫理観の重要性について認識することができる。データを適切に読解・利用するための基礎的な数理的思考を身に付けることができる。		
学修内容 (授業概要)	情報社会の今後 (AI活用社会) を見据え、ビッグデータやAI (人工知能) を適切に理解して利用するために、データサイエンスや数理的思考の基礎を学ぶ。これらの知識や技能は、文系理系を問わず、身に付けておくべきもので、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事の場で使いこなすための基礎的素養となるものである。		
学修内容 (授業計画)	第1回	ガイダンス、社会で起きている変化 1	
	第2回	社会で起きている変化 2	
	第3回	社会で活用されているデータ 1	
	第4回	社会で活用されているデータ 2	
	第5回	データとAIの活用領域 1	
	第6回	データとAIの活用領域 2	
	第7回	データ・AI利活用のための技術 1	
	第8回	データ・AI利活用のための技術 2	
	第9回	データ・AI利活用のための技術 3	
	第10回	データ・AI利活用の現場 1	
	第11回	データ・AI利活用の現場 2	
	第12回	データ・AI利活用の現場 3	
	第13回	生きたデータを活用した実社会における情報解析 (特別講義) 講師：佐藤 伸平氏 (金沢電子出版株式会社 代表取締役)	
	第14回	データ・AI利活用の最新動向 1	
	第15回	データ・AI利活用の最新動向 2 全体のまとめ	
事前学修・事後学修の具体的内容および所要時間	事前学修「テーマについて自分なりに調べる。与えられた課題に取り組む。(90分)」 事後学修「授業内容を復習し、実際にパソコン等を使って確認する。(90分)」		
授業の特徴	コンピューターを使用する回がある。 授業中、Teams等を用いた双方向のやり取りを行う。 第13回目は外部講師による特別講義を行う。		
成績評価方法・基準	各回の小テスト (全15回) によって評価する。		
課題に対するフィードバック方法	口頭または書面		
アクティブ・ラーニング導入の有無	有		
テキスト (必携)	授業時に指示する。		
参考文献/その他	授業時に指示する。		
担当教員の実務経験			
履修上の注意	授業内でPCを使用することがある。使用する際は都度指示する。自身のPCを持参できない場合には、事務部(学務)の貸し出し用PCを持参のこと。		
資格	学芸員課程		

保育士課程

2023年度の情報社会A、情報社会Bを履修した学生は履修できない。

2024年度前期の情報社会Aと同じ内容である。